|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | 体育科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられているか。  ○　身近な生活における健康・安全の知識・技能について  ○　自己の課題を見つけ、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることについて  ○　健康の保持増進をめざし、楽しく明るい生活を営む態度について |
| ２  人 権 の  取 扱 い | 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。  ○　人権への配慮について  ○　ユニバーサルデザインに関する配慮について |
| ３  内容の程度 | 児童の発達段階を考慮した内容になっているか。  ○　文章の記述や分量について  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について |
| ４  組織・配列 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。  ○　単元配列について  ○　ページの構成（本文・写真・挿絵・図・表などの配置）について |
| ５  創意工夫 | 保健の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。  ○　具体的な体験を伴う活動について  ○　心と体の健康と発育に関する課題を解決する学習活動について |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習． | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。  ○　資料やコラムなど |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | 体育科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられているか。  ○　身近な生活における健康・安全の知識・技能について  ○　自己の課題を見つけ、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることについて  ○　健康の保持増進をめざし、楽しく明るい生活を営む態度について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　各単元に「ステップ４（まとめる・生かす）」や「学習をふり返ろう」などの学習活動が取り入れられており、学習内容を整理し知識の定着を図ることのできる内容になっている。また、「実験」「実習」がイラストや写真とともに示されている。  ○　各単元に「ステップ１」～「ステップ４」の学習活動が設定されており、児童が身近な生活における課題を見つけ、その課題の解決に向けて考えたことを表現する活動ができるよう取り扱われている。  ○　「ステップ４」では、自分の生活を見直す活動が設けられており、気づいたことやわかったことを書いて自分の生活を振り返ることで、健康の保持増進をめざすよう取り扱われている。 |
| 大日本 | ○　章末に、知識及び技能を定着させるための問題が設定されており、学習した内容を振り返りながら確認できる内容になっている。また、「実験」「実習」がイラストや写真とともに示されている。  ○　各単元で、課題をつかんだ後、「やってみよう」「話し合ってみよう」などで課題を解決する過程において、学習したことや思考したことを表現する活動ができるよう取り扱われている。  ○　単元末に「活用して深めよう」が設けられており、学習したことを実生活の中でどのように実践していくかを考えることで、健康の保持増進をめざすよう取り扱われている。 |
| 文教社 | ○　章末の「わたしの〇〇せん言」では、知識の定着を図るために、今後どう実践していきたいかについて考え記述する内容になっている。また、「実験」「実習」がイラストや写真とともに示されている。  ○　課題に対して、学習過程の中の「考えよう」や「話し合おう」「調べよう」などにおいて、生活の振り返りをしたり、思考を深めたり、表現するなどの活動ができるよう取り扱われている。  ○　単元末の「新しい自分にレベルアップ」では、生活場面での事例を提示し、自分ならどうするかを考えることで、健康の保持増進をめざすよう取り扱われている。 |
| 光　文 | ○　「学習のまとめ」では、知識・技能の定着を図る選択式の問題が設けられ、学習したことを整理して振り返ることができる内容になっている。また、「実験」「実習」がイラストや写真とともに示されている。  ○　課題解決に向けて、ヒントやポイントなどがキャラクターの発言で提示されている。また、「話し合おう」など他者と話し合い、考えを深め、表現する活動ができるよう取り扱われている。  ○　単元末の「生かそう　伝えよう」では、学習したことを自分の生活と結びつけて考える活動が設定され、健康の保持増進をめざすよう取り扱われている。 |
| 学　研 | ○　章末の「ふり返る・深める・つなげる」では、記述式の問題が設定され、知識の定着を図ることのできる内容になっている。また、「実験」「実習」がイラストや写真とともに示されている。  ○　小単元のはじめの「つかむ」では、身近な健康課題や自分の生活について考える活動が設定されており、「考える・調べる」では、課題解決に向けて、考えたり調べたりしたことをもとに、話し合う活動ができるよう取り扱われている。  ○　単元末の「まとめる　深める」では、学習したことを活用して生活につなげたり、今後の目標を立てたりする活動内容が設定され、健康の保持増進をめざすよう取り扱われている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ２  人 権 の  取 扱 い | 人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。  ○　人権への配慮について  ○　ユニバーサルデザインに関する配慮について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。例えば、パラリンピック代表選手の小学生のころのエピソードなどが取り上げられている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 |
| 大日本 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。例えば、地域の場面では、障がいのある人と共に生きる様子などが示されている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 |
| 文教社 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。例えば、心と体の性が一致しない悩みに対し、一人ひとりの違いを認め合うことなどが示されている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 |
| 光　文 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。例えば、体と心の性が違うと感じている子どもを想定し、相談する場があることなどが示されている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 |
| 学　研 | ○　人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。例えば、高齢者・外国人・障がいのある人の写真やイラストなどが用いられている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ３  内容の程度 | 児童の発達段階を考慮した内容になっているか。  ○　文章の記述や分量について  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに児童の発達段階に応じた内容となっている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |
| 大日本 | ○　文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに児童の発達段階に応じた内容となっている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |
| 文教社 | ○　文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに児童の発達段階に応じた内容となっている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |
| 光　文 | ○　文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに児童の発達段階に応じた内容となっている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |
| 学　研 | ○　文章はわかりやすく、簡潔な記述であり、分量とともに児童の発達段階に応じた内容となっている。  ○　写真、挿絵、図、表などの資料について、児童の発達段階を考慮した内容となっている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ４  組織・配列 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。  ○　単元配列について  ○　ページの構成（本文・写真・挿絵・図・表などの配置）について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | ○　すべての学年で、目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、「つなげよう」「はってん」で他学年や他教科とのつながりが示されている。  ○　写真、挿絵、図、表などを効果的に活用し、効果的な指導が行われる構成となっている。「コール」「クール」のキャラクターが問いかけや説明をしている。 |
| 大日本 | ○　すべての学年で、目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、「学年マーク」「教科マーク」で他学年や他教科とのつながりが示されている。  ○　写真、挿絵、図、表などを効果的に活用し、効果的な指導が行われる構成となっている。各ページの「ミニちしき」のコーナーで内容を補足している。また、「ゴリ先生」のキャラクターが問いかけやアドバイスを行っている。 |
| 文教社 | ○　すべての学年で、目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。  ○　写真、挿絵、図、表などを効果的に活用し、効果的な指導が行われる構成となっている。各ページの「つぶやきくん」のキャラクターが問いかけやアドバイスなどを行っている。 |
| 光　文 | ○　すべての学年で、目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、「学年マーク」「教科マーク」「はってん」で他学年や他教科とのつながりが示されている。  ○　写真、挿絵、図、表などを効果的に活用し、効果的な指導が行われる構成となっている。「豆知識」で、学習内容に関連する知識が紹介されている。 |
| 学　研 | ○　すべての学年で、目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点を含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。また、「ことば」「関連」で他学年や他教科の学習内容とのつながりが示されている。  ○　写真、挿絵、図、表などを効果的に活用し、効果的な指導が行われる構成となっている。子どものイラストが問いかけやアドバイスなどを行っている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ５  創意工夫 | 保健の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。  ○　具体的な体験を伴う活動について  ○　心と体の健康と発育に関する課題を解決する学習活動について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | 保健の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　手の汚れを確かめる実験やけがの手当ての実習、リラックス状態を体験する活動など、具体的な体験を伴う活動が取り扱われている。  ○　ページ上部に課題を示し、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」という学習過程の中で、児童自身が、自分のこととして課題を解決する学習活動が取りあげられている。 |
| 大日本 | 保健の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　体ほぐしの運動や軽いけがの手当てをする活動、呼吸法で心を落ち着かせる活動など、具体的な体験を伴う活動が取り扱われている。  ○　はじめに課題を示し、「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」という学習過程の中で、児童自身が、自分のこととして課題を解決する学習活動が取りあげられている。 |
| 文教社 | 保健の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　自分の生活を項目ごとにチェックする活動や体ほぐしの運動、腹式呼吸でリラックスする活動など、具体的な体験を伴う活動が取り扱われている。  ○　はじめに課題を示し、「ふり返ってみよう」「調べてみよう」「考えてみよう」「やってみよう」「新しい自分にレベルアップ」という学習過程の中で、児童自身が、自分のこととして課題を解決する学習活動が取りあげられている。 |
| 光　文 | 保健の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　体ほぐしの運動やけがの手当ての実習、呼吸筋のストレッチなど、具体的な体験を伴う活動が取り扱われている。  ○　「はじめに」で課題を示し、「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「話し合おう」「生かそう」「伝えよう」という学習過程の中で、児童自身が、自分のこととして課題を解決する学習活動が取りあげられている。 |
| 学　研 | 保健の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。  ○　体ほぐしの運動や体の力を抜く体験、けがの手当ての実習など、具体的な体験を伴う活動が取り扱われている。  ○　ページの上部に課題を示し、「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・深める」の学習過程の中で、児童自身が、自分のこととして課題を解決する学習活動が取りあげられている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習． | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。  ○　資料やコラムなど |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 東　書 | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりするための資料やコラムが取り扱われている。  ○　単元ごとの「資料」や、「はってん」「まめちしき」などがある。  　　なお、Ｄマークのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 大日本 | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりするための資料やコラムが取り扱われている。  ○　「しりょう」や「はってん」、「もっと知りたい」のページ、各ページの「ミニちしき」などがある。  なお、ウェブマークのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 文教社 | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりするための資料やコラムが取り扱われている。  ○　「もっとくわしく！」「もっと知りたい！」や「発展」のコーナー「情報コーナー」や、グラフや表などの参考資料などがある。  　　なお、ＱＲコードのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 光　文 | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりするための資料やコラムが取り扱われている。  ○　「科学のとびら」などの資料や、「この人に聞く」のコーナーなどがある。  　　なお、webマークやＱＲコードのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |
| 学　研 | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりするための資料やコラムが取り扱われている。  ○　「発展」「もっと知りたい・調べたい」「かがくの目」などがある。  　　なお、教科書サイトマークのあるページでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 |